

佐 潟 通 信

2015年12月

54号

◆佐潟のようすⅠ～秋から冬へ～

冬の使者たちが次々と飛来しています。

秋も深まり、佐潟にも渡り鳥が一気に増えてきました。10月1日、コハクチョウ3羽の飛来を確認し、10月末日には1800羽、11月末日には約5000羽をカウントしています。昨年より10日程早い飛来です。マガモ、コガモなどのカモ類やシギ類も数羽確認しました。

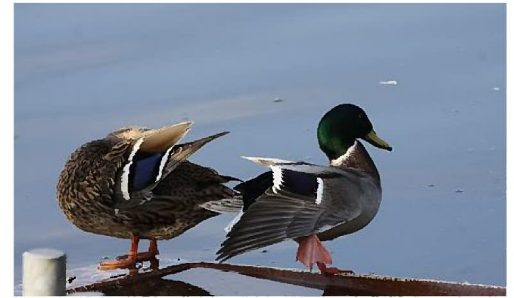
早朝には、ハクチョウをはじめとする水鳥を観察しようと、野鳥愛好者の方々も増えてきて活気があります。今年は気温が少し高いといわれていますが、これから真冬に向かってまだ多くの渡り鳥が佐潟で越冬します。

ハクチョウ飛来数
(コハクチョウ+オオハクチョウ)

10月 1日	3羽
10月23日	1495羽
10月30日	1846羽
11月 6日	3120羽
11月13日	4152羽
11月20日	4753羽
11月27日	4918羽
12月 4日	3977羽



佐潟の様子(11月)



◆佐潟のようすⅡ～地域の活動～

今年もみんなで地域をあげての保全活動（先人の苦勞を学ぼう）

第19回佐潟クリーンアップ活動 潟普請

主催：佐潟クリーンアップ実行委員会

佐潟のさらなる環境改善を目的に、佐潟クリーンアップ活動「潟普請」が9月19日、20日に行われました。2日間で地元の中学生や企業、市民団体など約130人が参加し、楽しみながら汗を流しました。



@ヨシ刈り作業@

夏場に成長し、窒素など栄養を吸収したヨシを刈り、潟外へ出すことで水質浄化につなげます。



@ドロ上げ作業@

たとえわずかでも湖底環境の改善と水路の確保で水質浄化へつなげるため、鋤簾（ジョレン）を使ってドロを上げます。



◆佐潟のようすⅢ～潟の恵み～

佐潟の夏から秋にかけての佐潟の潟の恵みを紹介します。
暑い夏もおわり、今年も佐潟の植物たちは多くの実をつけました。夏の後半からは葉やつぼみを多くつけたハスや、秋の初めには水面でヒシの実も多く見られました。水生植物のオニバスを数箇所で見つけましたが、ミズアオイは今年も見られませんでした。来年は出会えることを期待します。



佐潟で見られたオニバス



* 試食用(ハスの葉をお皿に)

◆佐潟のようすⅣ～秋からのイベント報告～



① 水と土の芸術祭2015 終了 **10月12日まで感動の87日間**
「水と土の文化を国内外に」、「新潟の暮らし文化を広く世界に伝えていきたい」との思いで開催された水と土の芸術祭は、10月12日で終了しました。メインフィールドの一つである佐潟での展示作品にも、多くの方が関心を集めていました。



② 佐潟探検隊(さかたん)第3回 稲刈り&紙すき体験
春にバケツで植えた稲(コシヒカリ)を刈り取りました。農作業の経験がない子供たちは、慣れない鎌の使い方に苦戦していましたが、収穫の喜びを味わっていました。

さかたんとは…佐潟や自然について体験しながら学ぶ、年間登録制のこども向け体験プログラム



③ 絵手紙体験教室 (気持ちや温もりが伝わる絵手紙作成)
秋の佐潟の自然をモチーフに絵手紙を描きました。絵の具で色をつけて太さを調節しながら、思いどおりの模様を楽しみました。



④ 佐潟散歩発展観察会～秋編～

「佐潟鳥類目録(仮)の紹介と夕暮れ散歩」

佐潟ボランティア解説員が講師を務め、冬の渡り鳥や鳥の種類、特徴などについて学習しました。参加者からも数多く質問が寄せられました。また後半は、夕暮れ時のハクチョウのねぐら入りとカモ類の飛び立ちを観察し、参加者は感動していました。夕暮れの佐潟を満喫していただきました。

佐潟散歩発展観察会…佐潟ボランティア解説員が講師となり、普段の観察会では開催できない時間帯やコース、テーマでの観察会。

佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内



ラムサール条約登録湿地

【開館時間】 9:00～16:30 (冬期間11月から2月の土・日は7:00から)
【休館日】 月曜日 (祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。